

鞍手町町制施行60周年を祝う記念式典が、5月17日(日)鞍手中学校体育館で開催され、町内各種団体の代表者など約三百人が出席されました。

【徳島町長あいさつ】

鞍手町は、昭和30年1月1日に町制を施行して60年という記念すべき年を迎えました。人に例えますと「還暦」を迎え干支が一巡し、新たな歩みが始まる年であります。

これまでの歴史を振り返りますと、時代の一コマ一コマが今日の鞍手町を創りあげてきたものと改めて実感いたします。町の発展の礎を築いてこられた先人のご努力に深く敬意を表しますとともに、その功績を称え、新たな未来へと進んでいく所存であります。

顧みますと、昭和30年の町制施行当時の本町は、人口3万人を超え、町内に勢いと活況を感じるものでありました。

しかし、戦後70年を迎え、日本は世界に類を見ない高齢社会の進展とともに人口減少という大きな課題を抱えております。このことは本町においても同様であります。

私は、このような厳しい社会情勢に翻弄されることなく、これまでも子育て支援や若者の定



住対策、高齢者福祉の充実など、温もりと魅力あふれるまちづくりを目指し積極的に政策展開を図ってまいりました。

町制施行60周年を迎え、将来の鞍手町に思いを馳せ、町民の皆様と共に知恵と力を出し合い、鞍手町を「魅力ある住みたい町」「老若男女すべての人が笑顔で暮らせる町」にしていくことを目標に、未来に繋がるまちづくりへと鞍手町を継承するため、全力で町政運営に望む決意を新たにいたしましたところであります。

【表彰】

式典では鞍手町表彰及び町制施行60周年記念表彰が行われ、39の個人や団体が各部門ごとに表彰されました。

◆鞍手町表彰 鞍手町青少年育成町民会議、相葉富雄、宇田川亮、遠藤典男、岡崎邦博、梶栗文一、武谷保正、星正彦、有松弘美、田方岳真、吉田廣文

◆町制施行60周年記念表彰

末永清、藤井睦彦、山本喜久男、小西重信、篠原敏夫、内藤憲雄、長谷川正人、原口彌生、毛利芳太郎、鞍手町ボランティア連絡協議会、倉田二平、鞍手町商工会青年部、井手川泰子、浦部鈴子、大庭史孝、久保智則、西藤敏彦、



町制施行

60周年



【写真】

① ② 主催者を代表し、あいさつする徳島眞次町長と星正彦町議会議長 ③ 記念式典で祝辞を述べる麻生太郎副総理・財務大臣兼内閣府特命担当大臣 ④ ⑤ 鞍手町表彰及び町制施行60周年記念表彰を受彰されたみなさん ⑥ 記念講演会の整理券を求めて中央公民館前に多くの人が列を作った ⑦ 記念式典・講演会の会場となった鞍手中学校体育館。来場者はおよそ千人にも及んだ ⑧ ⑨ ⑩ 記念講演会の講師を務めた林修さん（東進ハイスクール東進衛星予備校 現代文講師）。手渡された花束に「今年一番」と喜ばれていた



【記念講演会】

櫻井輝代、谷田潤一、原恵子、毛利耕平、與古光靖、大隅直方、埴岡昌秀、宮崎實男、鞍手町地域開発協力会、鞍手町老人クラブ連合会、有田勝美
(順不同・敬称省略)

式典終了後には林修さん（東進ハイスクール 東進衛星予備校 現代文講師）を講師に迎えて「やりたい事」と「できる事」をテーマに記念講演会を開催。会場となった鞍手中学校体育館は、町内外から集まったおよそ千人にも及ぶ来場者で埋め尽くされました。

講演の中では、予備校講師をやったかったからやっているわけではないという自らの身の上を例にあげながら、どこにいてもイスの足りないイス取りゲームをさせられる現代社会では、時に「やりたくはない」が「できる」事でイスを確保することも必要であると熱弁を振るわれました。

鞍手町は、これからも町民の皆さんと一緒に、住みよいまちづくりのために邁進していきます。60周年を一緒に祝ってください皆さん、本当にありがとうございます。

鞍手町長 徳島 眞次

